

2025年度事業報告

I. 概要

2025年度の住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅すべてが減少し、全体では前年度比で12.9%減、71.1万戸と昨年度の増加から減少に転じた。

住宅施策においては、2050年カーボンニュートラル実現に向けて改正建築基準法、改正建築物省エネ法が2025年4月から施行され、全ての新築住宅に省エネ基準の適合が義務化された。2030年度までには適合すべき省エネ基準がZEH（ゼロエネルギーハウス）水準に引き上げられる予定とされている。2026年3月には新たな住生活基本計画（全国計画）が閣議決定された。国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携による「住宅省エネ2026キャンペーン」が引き続いて実施され、「みらいエコ住宅事業」をはじめとした支援制度により、高効率給湯器、高断熱サッシなど省エネ住宅部品の普及の加速化が図られている。

これらの動きを踏まえつつ、「良質な住宅部品の供給・普及」「優良住宅ストック社会実現に向けた貢献」という当協会（ALIA）のミッションを果たすべく、中期活動計画（2020～2025年度）の3項目と、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献するための「ALIA こども応援プロジェクト」推進の計4項目を柱としつつ、事業活動が社会課題の解決や住宅産業の持続的発展に寄与することを意識しながら、（一財）ベターリビング（以下「BL」）をはじめとする関連団体との密接な連携の下、各専門部会、空間等別部会、部品別委員会等を中心に積極的な事業活動を展開した。また、新たな中期活動計画の検討を進めるとともに、2025年度を期限とした「ALIA こども応援プロジェクト」のあり方についても検討した。事業活動の活性化、効率化・合理化についても検討し、必要な措置を講じた。

II. 主要活動事項

1. 良質な住宅部品の供給・普及

(1) 環境・健康に配慮した住宅部品の供給・普及

〔SDGs 目標：3、6、7、12、13、14、15〕

- ① 国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携による「住宅省エネ2025、2026キャンペーン」の各事業などの住宅の省エネ化に関する国の支援制度等について、情報収集と会員への共有を図った。
- ② 2050年カーボンニュートラル実現に向け、省エネ設備の消費者の認知度把握調査を実施した。
- ③ 断熱性能に優れた外皮仕様について、工務店や一般消費者への普及を進めた。
- ④ 開口部の熱性能評価プログラム「WindEye」について、省エネ基準適合義務化への対応など機能向上・充実に向けた検討を進めた。
- ⑤ 環境保全性に優れたBL-bs部品を含むBL部品の普及促進に努めるとともに、ユーザーへのBL製品の認知度向上を図った。
- ⑥ シャワーユニットをはじめBL部品の認定基準・評価基準の策定・改正作業に協力した。

(2) 住宅・住宅部品に関わる新たな課題への対応 [SDGs 目標：3、8、9、12]

- ① 子育て世帯の住宅ニーズ把握のための調査を実施した。
- ② 次世代の住宅に求められる IoT 等の新たな技術・サービスに関し、国、関係機関、企業の施策、研究、取組み等の情報収集を行うとともに、今後の ALIA の取組み方針・内容について検討した。
- ③ 物流の 2024 年問題に対応し、宅配ボックスや郵便受箱について、性能向上、普及促進に取り組んだ。
- ④ 鋼製物置における地震に対する安全性の調査・研究を進めた。
- ⑤ その他、国の住宅関連施策や社会情勢等について常に情報収集を行い、新たな課題に迅速に対応した。

2. 「住宅部品の点検」を核とした優良住宅ストック社会実現への貢献

(1) 安全安心な住宅部品のあり方の追求 [SDGs 目標：12]

- ① 居住者のお手入れ点検に対する意識向上につなげるため、居住者の交換のきっかけ等について、対象となる住宅部品、年齢を絞り込み、さらなる調査、分析を行った。
- ② 高齢者が健康状態を長く維持し、安全に暮らせる住宅・住宅部品のあり方を検討するため、現在の住宅で感じている困難や課題、必要と感じている設備や、要望、新しい設備導入に前向きとなるための要素等を把握するための調査を実施した。

(2) 適切な維持管理（点検）からリフォームへつなげる仕組みの構築

[SDGs 目標：8、11、12]

- ① 居住者がお手入れやメンテナンスの困りごとがあった場合に、住宅部品ごと、メーカーごとにお勧めする対応情報に迅速に辿り着け、そして居住者に寄り添うビルダーの事業にも貢献する「お手入れ・点検ポータル」のテストサイトを構築し、試行運用を開始した。本格運用に向けてのサイト改修を計画どおり実施した。
- ② 住宅部品点検スペシャルサイト「ジュウテン」の内容更新、関連団体との連携強化を図った。
- ③ 「住宅部品点検の日」シンポジウムを開催するとともに、ジュウテンジャーぬりえキャンペーンの実施、消費者関連団体を通じた普及などを推進する。これらの活動に当たっては、点検キャラクター「ジュウテンジャー」の効果的活用を図った。
- ④ 「自分で点検！ハンドブック」「住宅部品 経年劣化スタディブック」の活用により、ビルダー及び消費者への点検文化の普及啓発を行った。
- ⑤ 住宅部品関連団体との連携を継続し、点検に関する情報共有、消費者への情報発信を行った。今後の連携強化に向けて調査、意見交換を行った。

3. 「ALIA こども応援プロジェクト」の推進

[SDGs 目標：1、2、3、4、5、10、11、16、17]

- ①2025年度上期の第5弾で75団体、下期の第6弾で72団体の「こども食堂」へ商品等提供を行った。第6弾まで全国47都道府県、累計421団体の「こども食堂」への支援を実現できた。
- ② 2026年度以降のプロジェクトのあり方を検討し、現行スキームを拡充・効率化委し、2030年まで継続実施することとした。
- ③ これまでのプロジェクトの状況等をフォローアップし、支援のあり方や手続きの改善等を行った。
- ④ 募集開始時のニュースリリース、ALIAのWEBサイトの更新に加え、参加会員企業等による多様な手段による情報発信を行った。
- ⑤ 会員会社にプロジェクト意義の理解促進のため、WEB講演会、こども食堂見学会を実施した。

4. 政策提言・提案・情報発信の強化 [SDGs 目標：17]

- ① 国土交通省との意見交換の場の設置を通じて、市場動向情報の提供、住生活基本計画、新たな住宅性能・機能、LCA、EPD等、国施策への意見や政策に係る提言・意見交換、予算等の要望を行った。(8/5住宅生産課、8/21住宅局参事官(建築企画担当)付)
- ② 国の制度・予算に関する要望を取りまとめ、(一社)住宅生産団体連合会(以下「住団連」)、(一社)住宅リフォーム推進協議会(以下「リ推協」)と連携して要望を行った。
- ③ 住団連、(一社)ベターライフリフォーム協会、リ推協など関連団体と連携しつつ各種活動を展開した。
- ④ 機関誌(ALIA NEWS)、ホームページ、メールマガジンのそれぞれの特性を考慮しつつ、会員及びユーザーへのタイムリーな情報発信を行った。
- ⑤ 調査研究成果をBL・ALIA研究成果発表会や関係団体の委員会等で報告するとともにプレスリリースを行った。また、各事業の進行に合わせ、情報発信等の広報活動を行った。

III. 運営委員会 [SDGs 目標：全般]

- (1) 事業計画や予算、各種規程の変更案など、理事会への付議事項について、検討を行った。
- (2) 国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター及びBLとの情報提供・意見交換を定期的に行った。
- (3) 中期活動計画、「住宅部品×SDGs宣言」等を踏まえ、ALIAにおける各部会・委員会の事業、企画及び予算の調整を行った。

IV. 事業企画部会 [SDGs 目標：全般]

- (1) 事業計画や予算など、運営委員会への付議事項について検討を行った。
- (2) 5月まで設置した企画WGにおいて、入会促進ツール、会費改定説明資料、全会員向けWEB説明会の検討を行った。
- (3) 国土交通省に対して市場動向情報の提供、住生活基本計画、新たな住宅性能・機能等、国施策への意見や政策に係る提言、予算・税制要望等を行った。(8/5)

- (4) 住生活基本計画等、住生活関連の法令・制度、助成策、金融政策、税制等に関し、情報の収集と対応方針の検討を行った。

V. 広報部会 [SDGs 目標：全般]

ALIA の事業活動と会員企業の事業活動を内外に知らしめ存在価値を高めていく。そのため、部会傘下の委員会・WGと共に各部会・委員会等と効率的な連携を図るとともに情報の整理・ツール改良を行う。

- (1) ALIA 事業活動に関わる外部情報の内部共有、成果の外部発信

① 内部共有

- ・BL・ALIA 研究成果合同発表会；7月31日（木）開催

発表テーマ

ALIA：「2024年度住宅部品の取替え喚起に向けた調査」

「2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ・再エネ設備の消費者の認知度把握調査」

BL：「全熱交換器の新評価法の根拠に関する実験的検討」

「住まいと暮らしの20年間の変化～SLI：サステナブル・リビング・インデックスの更新～」

ご講演

横浜市立大学 国際教養学部 教授 齊藤 広子先生

「住宅関連事業者への期待～国の住宅政策の動向を踏まえて～」

- ・その他、住生活月間中央イベント含め外部会議情報の共有を図った。

② 外部共有

- ・アメニティ Cafe トップページリニューアル
- ・こども応援プロジェクト、各支援先結果情報発信・公募開始案内
- ・総会開催情報発信
- ・第14回「住宅部品点検の日」シンポジウム開催
- ・【第5回】ジュウテンジャー めりえキャンペーン2025開催案内
- ・「お手入れ・点検ポータル」開設案内（ポータルサイト構築支援あり）
- ・ALIA NEWS 発行案内 等

- (2) 「住宅部品点検の日」シンポジウム：10月10日（金）開催

今年のテーマは「知って得する！「自分で点検」がもたらすビジネスヒント～居住者×事業者の良好な関係を実現するスマートな情報発信～」。

基調セミナー：HITOWA（株）企画部長 尾崎 真 氏

「居住者への情報発信のポイント」

- (3) ALIA こども応援プロジェクト

第4弾募集（2024年度秋募集）第5弾募集（2025年度春募集）における支援事例を、プロジェクトホームページに公開。

- (4) 「住宅部品の基礎知識～アメニティ Cafe」の活性化のために実施したUI改善
アメニティ Cafe をより使い易く内容をより広く知らせるため、各空間部会の協力により4月にUI改善を行い公開した。今後は定期的な効果検証を行っていく予定。

- (5) 社会課題やALIA調査研究成果をALIA会員・関連団体へ発信

<社会課題関連テーマ>

- ・改正クリーンウッド法と住宅産業
- ・レジリエンス

<ALIA 調査研究成果>

- ・既存住宅の断熱リフォーム推進に向けた課題把握調査
- ・キッチン設備機器の利用実態調査
- ・換気方式の違いによる換気の実態調査報告書
- ・住宅部品の取替え喚起に向けた調査
- ・2024年度 2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ・再エネ設備の消費者の認知度把握調査

【ALIA NEWS編集委員会】 [SDGs 目標：17]

ALIA 事業の認知度向上と会員各社へ有益な情報提供を目的として、機関誌「ALIA NEWS」を4回（5/20、8/10、11/20、1/20）発行した

- ①春号（Vol. 187：2025年5月20日発行）：特集「改正クリーンウッド法と住宅産業」
- ②夏号（Vol. 188：2025年8月10日発行）：特集「レジリエンス」
- ③秋号（Vol. 189：2025年11月20日発行）：特集「住宅部品の長期使用と安全点検」
- ④新年号（Vol. 190：2026年1月20日発行）：特集「2026年を迎えて」

特集テーマのほか、巻頭言、ALIA、BL、JHF等の活動紹介、行政の動き、会員各社及び団体の事業活動や新技術・新製品紹介等を掲載した。

【WEB企画・管理委員会】 [SDGs 目標：12、17]

- ① ALIAの主要行事や活動内容の発信
 - ・2025年度理事会・総会の開催
 - ・BL・ALIA研究成果合同発表会開催
 - ・ALIAこども応援プロジェクトの活動
 - ・調査研究報告書の掲載 他
- ② WEBサイトの充実
 - ・サイト活用部門のサポート（住宅部品点検推進部会、イベントWG）
 - ・「住宅部品の基礎知識～アメニティCafe」の活性化のために、トップページUI（ユーザー・インターフェイス）の改善についての効果検証（四半期ごとの定量調査）
 - ・「ALIAこども応援プロジェクト」サイトの更新
 - ・「ジュウテン」サイトのアクセス増加・露出強化の検討
- ③ WEBサイトの管理
 - ・「ジュウテン」サイト、「アメニティCafe」四半期アクセス報告
- ④ 定期メールマガジンの企画・配信（毎月）
 - ・ALIAの活動を紹介する定期メルマガを企画・配信
 - ・定期メルマガの配信リスト整理、開封率は開く
 - ・メルマガ会員拡大のための会員募集チラシの制作、会員企業配布
- ⑤ 「お手入れ・点検ポータル」のサポート

【イベントWG】 [SDGs 目標：12、17]

住まい手が、住宅部品点検の重要性を気づき、点検を行い、安全で快適な生活が実現するために、

- ① 第14回「住宅部品点検の日」シンポジウムの推進と広報活動を実施した。
- ② 広報部会と連携し「BL・ALIA 研究成果合同発表会」の運営を行った。
- ③ 住宅部品点検推進部会4委員会等関連委員会との連携及び協調性を図った。
- ④ 「ジュウテンジャー」の効果的活用法を検討し点検の推進を図った。

<シンポジウム開催>

視聴者の利便性及びコストを考慮しWEB（Zoom ウェビナー）開催を軸に準備し開催した。

参加：227名（会場の登壇者・スタッフ含む、1アドレスは1名とカウント）

- ① 日程・会場の決定
 - ・日時：2025年10月10日（金）14：00～16：30
 - ・場所：オンライン配信（ベターリビング7階会議室）
- ② 住宅部品点検推進部会と連携し、テーマ・内容・登壇者の構成を決定
 - ・テーマ：知って得する！「自分で点検」がもたらすビジネスヒント
～居住者×事業者の良好な関係を実現するスマートな情報発信～
 - ・セミナー：清潔で快適な住空間を維持するための、居住者への情報発信のポイント（HITOWA（株） 企画部長 尾崎 真氏
 - ・パネルディスカッション
メンバー：
（株）HITOWA 企画部長 尾崎 真氏
（株）キタセツ 代表取締役社長 北川 拓氏
（株）家守り 代表取締役 富永 寿乃氏
ALIA 住宅部品点検推進部会 部会長 近藤 秀介
ファシリテーター：
（株）リフォーム産業新聞社 専務取締役 報道部長 福田 善紀氏
 - ・後援：国土交通省等5団体
 - ・協賛：ベターリビング等41団体
- ③ チラシの作成、データ配布による会員・協賛団体への告知
- ④ HPでの告知・動員と、HPを使った申込み受付と管理
- ⑤ PR TIMESを活用した広報活動を実施
- ⑥ パネルディスカッションのシナリオ作成、登壇者との打ち合わせ実施
- ⑦ WEBによる来場者アンケートを実施し、次回以降の開催検討に活用

他の部会・委員会と連携して、

- ① 住宅部品点検推進部会と連携した上記シンポジウムを開催した。
- ② 広報部会と連携した「BL・ALIA 研究成果合同発表会」の開催・運営実施。
- ③ シンポジウムの結果報告をALIA ニュースやHP等で実施。

次年度の住宅部品点検の日関連イベント開催に向けて、住宅部品点検推進部会と連携し検討を実施。

VI. 専門部会

1. 消費者・制度部会 [SDGs 目標：8、9、12、17]

会員各社が提供する住宅設備・建材等の住宅部品が、現在はもとより、将来的にも、居住者の暮らしを安全で快適なものにするため、以下の事業を実施した。

(1) 住宅部品と消費者との係りの調査・研究

調査テーマ：高齢者の住まいに関する意識調査

(概要)

今後数十年において高齢化は一層進展し、社会構造や経済に大きな影響を与えることが予想される。高齢者が健康状態を長く維持し、安全に暮らせる住宅のあり方を検討するために、現在の住宅で感じている困難や課題、必要と感じている設備や要望、新しい住宅設備の導入に前向きになるために重要となる要素等を把握することとした。

70代以上の高齢者については、調査対象モニター数の不足により十分な対象者数を集めることが難しいことから、本調査における調査対象は「70代以上の親と別居している子供」とし、子供の視点から「親に住んでほしい理想の住環境」を聴取する形をとる。また、介護を必要としている親の場合、特殊なニーズが想定されることから、本調査では調査対象外とした。

- ・調査手法：インターネット調査
- ・調査エリア：全国
- ・サンプル数：800名
- ・対象者条件：50～69歳の男女
- ・設問数：予備調査14問、本調査11問
- ・実施時期：2025年11月13日～20日

(結果と考察)

本調査から、別居して暮らす高齢者の住まいにおいては、特に「事故予防」「急変時対応」「導入のしやすさ」の3点が重点課題として浮かび上がった。

(2) 異業種の消費者経営の在り方に関して、交流を通して知見を深めた。

11月21日(金) 移動委員会：震災遺構 仙台市立荒浜小学校

(3) 建築行政・制度情報を早期入手し、委員会内で共有し個社業務の一助とした。

住団連 規制合理化WG、ALIA 運営委員会からの情報共有を行った。

(4) その他

7月31日 BL・ALIA 研究成果発表会：「2024年度 住宅部品の取替え喚起に向けた調査」の発表内容確認後、発表実施。

2. 環境部会 [SDGs 目標：3、7、11、12、13、14、17]

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、消費者から見た課題把握を行い、今後の普及活動に活かすとともに、国交省・経産省・環境省の環境・省エネ等に関する施策情報の収集・共有を行い、対策等の検討を行った。

(1) 調査研究事業

「2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ設備の消費者の認知度把握調査（リフォーム編）」を実施した。

- ・調査手法：インターネット調査
- ・調査エリア：省エネ基準地域区分「6」地域を含まない36都府県
- ・対象者条件：30～69歳の男女

- ：新築戸建て住宅で、「故障した」以外の理由でもリフォームを検討している方
 - ：リフォームの検討において能動的な行動をしている方
 - ・実施期間：2025年12月4日～15日
- 住まいに関する困りごととリフォーム意向、省エネ・再エネ関連リフォームの認知と実態、情報提供による意識変化と選考の再配分、導入障壁と今後の遡及点を確認できた。

3. リフォーム・施工部会 [SDGs 目標：7、8、11、12、13、14、17]

(1) リフォーム市場の活性化

① 他団体との協業

住団連（住宅ストック委員会、技能者問題委員会）、リ推協（市場環境整備委員会、技術情報委員会）に参加し、断熱省エネ性能向上リフォーム工事拡大のための支援策、住宅ストック（リフォーム、既存住宅流通）市場活性化支援策の検討を行った。

② 国への提言

既存ストックの省エネ化、良質なストック形成に繋がる税制・予算（施策）要望についてとりまとめ、住団連・リ推協を通じて国への提案を行った。

③ 情報発信及び収集と共有

リフォーム関連団体への ALIA としての提案、また他団体から入手した情報の会員各社への情報共有を行った。

(2) 調査研究事業の実施

「子育て世帯の住宅ニーズ把握調査」を実施した。

子育て世帯の住環境ニーズは「安全・安心」に加え、家事・育児が滞りなく回るための「暮らしの回しやすさ」まで含めて捉える必要性があることが見えてきた。特に「収納」「災害への備え」「家事負担軽減」「くつろぎ・ゆとりの空間」は重要度が高い一方で、未充足感も相対的に強く、子育て期の生活者にとっては付加価値ではなく、生活の基盤としての改善が求められる領域であることも見えてきた。

(3) 技能者問題の検討

設備・住宅関係にかかる技能者・事業者登録の促進と現場利用の推進をはじめ、建設キャリアアップシステム（CCUS）の更なる魅力の向上についての議論、運営委員会での住宅生産者担い手にかかるアンケート結果や、JBNによる住宅建設技能者の持続的確保に関する提言等について共有した。

4. 住宅部品点検推進部会 [SDGs 目標：11、12、17]

「お手入れやメンテナンス・保守の意識向上を目指す」ため、居住者がお手入れやメンテナンスの困りごとがあった場合に、住宅部品ごと、メーカーごとにお勧めする対応情報に迅速に辿り着け、そして居住者に寄り添うビルダーの事業にも貢献する「お手入れ・点検ポータル」のテストサイトを構築し、試行運用を開始した。本格運用に向けてのサイト改修を計画どおり実施した。

10月10日に「住宅部品点検の日」シンポジウムを開催し、実視聴者数は227名であった。ターゲットとするビルダーの参加が少なかった反省をもとに次回シンポジウム準備を広報部会イベントWGと連携して実施した。次年度もビルダーをター

ゲットとした開催を決定し、ビルダーのニーズを把握した後に様々な集客方策やコンテンツの充実化の検討を実施した。

(1) 安全安心な住宅部品の在り方の追及

自分で点検、自分でお手入れの普及啓発活動を行った。

- ・ジュウテンジャーぬりえキャンペーンの開催（8/1～9/30）
- ・ショールーム研修会（12/4）の開催
- ・「ジュウテン」サイトの利用促進に向けて協賛団体と連携し、関連団体お手入れ・点検ツールのページの見直しの実施

(2) 適切な維持管理（点検）からリフォームへ繋げる仕組みの構築

「お手入れ・点検ポータル」のテストサイトを構築した。このサイトは居住者のお手入れ時の困りごとに対して、品目ごと、メーカーごとにお勧めする適切なやり方の情報に迅速に辿り着くことができるため、自分で手を入れる不安が解消される。自分で手を入れることが増えることで取替えやリフォーム意識に繋がる。リフォームへ繋げるにはビルダーやリフォーム事業者の力添えが必要であるが、居住者に寄り添うビルダーの事業にもこのサイトは貢献する。

点検・お手入れの自己意識向上に繋がるための研究を開始した。既存消費者意識調査の深掘りやクロス集計分析から新たなアプローチの点検普及ツールを構築しリフォームへ繋げる仕組みの提案を目指す。

(3) その他

消費者が分かりやすく理解が深まる方策として共通用語の整理をして周知啓発に繋げる活動を開始した。

冊子「自分で点検！ハンドブック」は高評価が得られて注文も多いので、増刷することとし、一部ページの刷新の検討を実施した。

【点検普及ビルダー対応委員会】 【SDGs 目標：11、12】

(1) 「自分で点検！ハンドブック」「住宅部品 経年劣化スタディブック」を用いたビルダーへの更なる普及啓発策の検討・実施

- ・タカラスタダード宇都宮・那須塩原ショールームイベントでのセミナー実施。（主催：建材・設備流通会社・販売店／対象：ビルダー）
- ・上記セミナー開催に向け、セミナーの録画データを作成、リアルと併用し対応。
- ・「自分で点検！ハンドブック」について、昨年度より東北エリアから北関東エリアにかけて、タカラスタダード及び関係販売店・ビルダーより多数の購入をいただいた。

(2) 点検普及に向けた施策検討・実施

- ・「お手入れ・点検ポータル」のサイト構築
メーカーお手入れサイト・自分で点検サイト・住まいのコラムの3セグメントで構成。サイト構築・コラム・ビルダー対応の3つのWGを立ち上げ活動。
- ・顧客接点強化（コラムWG）
コラムの作成及びコラム配信計画の作成を行い2回／月（計16回）の配信を実施。
- ・サイト改善／コラム配信先登録数強化
「お手入れ・点検ポータル」試行に向け、ビルダー6社＋追加3社に対し提案資料作成の上、サイト活用提案及びアンケート等への協力依頼を実施。説明時

の反応はいくつかご意見をいただくも、全体としては高評価を得たが、進捗が芳しくなくアンケート n 数の確保できなかったため、今後の普及活動の中でもヒアリング等の実施を継続する。

- ・「お手入れ・点検ポータル」の試行開始(8/1)
- (3) 「自分で点検！ハンドブック」、「住宅部品 経年劣化スタディブック」の販売
 - ・「自分で点検！ハンドブック」：6,453部（新規30社、リピーター11社）
 - ・「住宅部品 経年劣化スタディブック」：125部（新規3社）（3/25現在）
 - ・HB/SB共に背表紙へ「お手入れ・点検ポータル」の案内の掲載を検討。

【点検普及消費者対応委員会】 【SDGs 目標：11、12】

(1) 消費者関連団体と連携した消費者への普及啓発活動

住宅部品ショールーム研修会を（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）西日本支部と、キッチンタウン・大阪（クリナップショールーム）にて開催。

- ・開催日：2025年12月4日（木）
- ・研修内容：SR見学・ALIA紹介・住宅部品の経年劣化と点検の重要性
- ・ALIA住宅部品点検ツールご紹介・ALIA点検動画ご紹介
- ・意見交換「消費者への点検情報の伝達展開策など」
- ・参加者数：15名

(2) 消費者啓発策の企画検討

① ジュウテンジャーぬりえキャンペーン企画

- ・目的：ぬりえを通じて住宅部品点検の消費者啓発を行う。
- ・テーマ：第5回ジュウテンジャーぬりえキャンペーン2025
～住宅部品をチェックしよう～
- ・募集期間（2025年8月1日（金）～9月30日（火））で実施。
- ・公募方法：公募ガイドONLINE（無料）・リスティング広告
- ・協力団体メルマガなどにて周知
- ・対象：幼・保育園～小学生（日本国内）
- ・賞品：図書カードNEXT(1,000円分)、抽選で100名様
- ・アンケート：「ジュウテン」サイト「応募フォーム」にて実施
- ・ジュウテンジャーぬりえ台紙（2種類）
- ・ぬりえ作品は「ジュウテン」サイト上へ掲載

※結果：応募点数：173点（対前年77%）

ニックネーム数：113名（対前年89%）

【業界連携委員会】 【SDGs 目標：11、12、17】

(1) 普及・啓発活動の継続・発展

昨年からの継続で28の住宅部品関連の団体に対し「住宅部品点検の日」シンポジウムへの協賛を依頼し、承諾を得た。

協賛団体に対し「ジュウテン」サイトへの点検ツール等の提供を依頼したところ、URLやサムネイル画像の変更依頼があり対応した（ガス警報器工業会、日本レストルーム工業会）。キッチン・バス工業会からは追加の要望があったが、「キッチン」「浴室」「洗面化粧台」の各バナーから、より「ジュウテン」サイトの主

旨に合致しており、最新の情報に更新されている「安全・安心への取り組み」サイトへリンクを張ることで合意し、変更を完了した。

(2) 活動の深掘り・拡がりを目指した取り組み

今後の各団体との連携活動を検討する材料とするため、各団体の活動状況の調査を2022年の夏以来3年ぶりに実施した。調査内容としては、前回調査と同じ点検ツールや活動のトピックス、注意喚起等の発信等に加え、今回の調査では「お手入れ・点検ポータル」の「住まいのコラム」の題材となり得る情報発信等についても調査対象とした。

前回の2022年調査内容と比較すると、団体によっては、安全のための点検、法的な規制や時期的な理由による部品の取替等を啓発する活動が活発になっている印象がある。

シンポジウム協賛に対するお礼やシンポジウムへの参加依頼、また「お手入れ・点検ポータル」等、ALIAの活動紹介を行うとともに、ALIAに対するご要望等を伺い、連携した活動の可能性を探るため、活動状況調査を参考に絞り込んだ3団体の事務局を訪問し、ALIAの取り組みや連携等に関して意見交換を行った。

1団体では活動に限界があるため、他の設備や建材等と連携できるALIAの活動については概ね期待されており、また“消費者への周知・浸透”という共通の課題認識があることも確認できた。

【住宅部品点検研究委員会】〔SDGs 目標：11、12、17〕

住宅部品を消費者が点検・お手入れすることで、長く安全に使って頂くための方法について研究活動を行った。

居住者が点検やお手入れに対する自発的意識向上に繋がるよう情報収集や内容を「消費者・制度部会 調査報告書」に基づき深掘り分析に取り組んだ。

また、点検推進部会 傘下の3委員会と横串を通し連携強化を図るため点検普及ビルダー対応委員会から委員として8月から委員会に参画いただき、3委員会横串強化での取り組みを図った。

「2023、24年度 消費者・制度部会 調査報告書」の内容について深掘り分析し、委員から意見を抽出し内容協議も行い更なる深掘りを行った。(クロス調査項目について深掘り)

- ・交換意識のきっかけの分析
- ・残存率推計調査報告書から住宅部品の絞込み分析
- ・年齢の絞込み

今後課題は以下のとおり。

- ・共通用語項目及び定義について引続き協議。
- ・分析深掘りの内容踏まえ消費者へヒアリングを予定。
- ・各部会、委員会調査内容の点検に対応する項目を引続き深掘り・クロス調査を協議。(深掘り参考データ:23、24年度消費者・制度部会調査)
- ・点検からリフォームへ繋がるための深掘りと分析

5. SDGs 推進部会 〔SDGs 目標：1、2、3、4、5、10、11、16、17〕

(1) 「こども食堂」への商品等提供

- ① ALIA こども応援プロジェクト支援の継続

2023年5月より正式にスタートした「ALIA こども応援プロジェクト」について、2025年度は第5弾、第6弾の支援を実施した。

② 第5弾の支援実績

募集期間は5月19日～6月2日まで、会員19社から25種類の商品・サービスを、計104団体に提供する公募を行った。

全国こども食堂支援センター・むすびえ（以下「むすびえ」）を通じ募集し、延べ352団体から応募があった。むすびえにて支援先の選定を行い、10月までに計75団体への支援を実施した。

③ 第6弾の支援実績（一部予定を含む）

募集期間は11月10日から11月25日まで、会員18社から26種類の商品・サービスを、計106団体に提供する公募を行った。

むすびえを通じ募集し、延べ414団体から応募があった。むすびえにて支援先の選定を行い、3月までに計72団体への支援を実施した。

(2) 2026年度以降のSDGs推進の活動の方針決定

① ALIA こども応援プロジェクトの継続実施を決定

本プロジェクトは今年度までを目途に展開して来たが、プロジェクトの意義、効果を鑑み、現行スキームを拡充・効率化して“第2ステージ”としてSDGsが目標とする2030年まで継続して実施することを決定した。

② 第7弾に向けた議論・検討スタート

2026年6月公募開始に向け、部会・こども応援プロジェクトチームで準備を開始した。

(3) 情報発信策

① ニュースリリースの配信

第5弾：5月19日、第6弾：11月10日にこども家庭庁記者クラブへ投込み

② SDGsへの貢献活動（ALIA こども応援プロジェクト）サイトへの掲載

ALIAのWEBサイトに公募スタートのお知らせを掲載するとともに、「ALIA こども応援プロジェクト」のサイトを更新。

③ 「こどもの未来応援国民運動」パンフレット等への掲載

こども家庭庁が取り組む「こどもの未来応援国民運動」のパンフレットに本プロジェクトが掲載。（2026.3更新）(<https://kodomomiraiouen.cfa.go.jp/>)
また、同HP上で本プロジェクトの紹介記事が2026年4月に掲載。

④ 商品・サービス等提供企業個社による情報発信

会員個社による情報発信を推進。並行して積極的に実施することで相乗効果を狙った。

(4) 会員各社向けの活動

① むすびえによるWEB講演会の実施

広く会員に本プロジェクトについて理解を深めてもらう目的で、12月3日に開催した。

② こども食堂の見学会開催

会員各社の2025年度の支援内容、あるいは2026年度以降の取組みを考える材料とする目的で、実際に支援したこども食堂の見学会（4か所）を開催した。

Ⅶ. 空間等別部会・部品別委員会

1. トイレルーム部会〔SDGs 目標：3、6、7、8、12、17〕

【温水洗浄器委員会】【洗面化粧ユニット委員会】

消費者の方へ「快適かつ安全で安心な住生活をおくっていただくため」の情報提供に取り組んだ。また、商品及びその周辺情報の収集と共有や課題に対応する。会議開催の合理化を図るため、温水洗浄器委員会、洗面化粧ユニット委員会と合同開催した。

(1) アメニティ Cafe 内容見直し

「給水栓」の改訂を行った。

(2) 講演会の開催

- ・日時：12月16日（火）15：15～17：00（定例部会の日時）
- ・場所：BL7B・C 会議室 ZOOM 併用
- ・講師：トイレ研究家 白倉正子氏（アントイレプランナー代表）
- ・テーマ：「トイレ研究家の活動と世界と日本のトイレの違い」
- ・参加者：62名
- ・アンケート結果：非常に満足と満足を併せると96%。「マツコの知らない世界」他数々のマスコミ出演を始めとしたトイレ研究家としての幅広い活動と世界トイレ協会理事として、世界中のトイレ事情と日本との違いについて密度の濃い講演で参加者の満足度が大変高かった。

(3) 参画している専門部会活動情報共有

専門部会で実施している調査事業報告書の情報共有を行った。
（消費者・制度部会、点検推進部会、リフォーム・施工部会）

(4) 移動委員会

10/31 常滑市 INAX ライブミュージアムに視察を行い、委員会も開催した。世界のトイレの歴史や文化も学ぶことができた。

(5) 「お手入れ・点検ポータル」サイトへのトイレ関連トピックスの収集

トピックスを2件提供した。

(6) BL 関連

BL 基準「便器」にて誤記修正を行う改正内容について共有。（12月16日改正）

2. バスルーム部会〔SDGs 目標：3、6、7、12、17〕

【浴槽委員会】【浴室ユニット委員会】

(1) 社会的要請に基づく浴室関連施策・課題の情報収集、対応方策の検討

① BL の優良住宅部品認定基準についての情報共有

今年度は「長寿社会対応シャワールームユニット」の追加と「浴室ユニット」の基準改正があり、分科会に委員として参画した。

② BL にて検討中の「施工の省力化に配慮した住宅部品のガイドライン」の検討委員会及びWGに参画し、提示されたガイドラインの素案に対し委員への意見募集を行った。

(2) 快適で健康的な入浴及び入浴のための調査・研究、情報収集・発信

① 近隣施設の視察（5月16日）

社会課題に向けた最先端の研究を行っている「ライフ・テクノロジースタジオ（産業技術総合研究所）」、老化によって生活がどう変わるかの疑似体験がで

きる「古いパーク（日本科学未来館）」、江戸末期創業の銭湯「金春湯（銀座）」を視察。最先端の技術・研究と今日まで続く日本の伝統文化を体感した。

② 移動委員会（11月22日～23日 青森）

積水ハウス Tomorrow's Life Museum にて同社の安全、安心、環境への取り組みを視察、翌日は明治維新胎動の地「萩」にて「明倫学舎・松下村塾」を見学した。

(3) 入浴に関する新たな技術・サービスに関する調査・情報収集

(株)バスシステムデザイン研究所講演会（1月21日）

同社は解体しない浴室リフォームにて急成長中の会社。長期使用や経年劣化に対する新たな技術・サービスを学ぶことで、今後の住宅部品のあり方について有益な情報が得られた。

聴講者数：78人

満足度：たいへん満足 52%、満足 44%と好評。

3. リビングルーム部会 【SDGs 目標：11、12、15、17】

【階段・はしご段委員会】【内装システム委員会】【内装ドア委員会】

- ① 昨年度からの取り組みとして、リビング関連部品の交換や点検に関して消費者目線での課題を抽出し、消費者に対するメンテナンス情報として、どのような情報を整備し発信・提供すれば良いか検討を進めた。その基礎データとして、委員各社のメンテナンス部品や体制についてアンケート調査の結果を報告書として取りまとめ、委員各社で情報共有した。
- ② 2025年4月に施行された改正クリーンウッド法に関して、法改正に伴い（一社）日本建材・住宅設備産業協会（以下「建産協」）と共同で「建材・住宅設備メーカーのためのクリーンウッド法運用ガイド」の改訂と補足資料の追加を行い、協会HPに公開した。
- ③ BLにて検討中の「施工の省力化に配慮した住宅部品のガイドライン」の検討委員会に協力委員として参画するとともに、ガイドライン案に対して部会内で意見を集約し上申した。
- ④ 2025年1月に厚生労働省にてエチルベンゼンの室内濃度指針値が改定されたことを受けて、建産協など5団体が共同で策定した住宅部品VOC表示ガイドラインの改訂作業を進めた。2026年3月にHP上で公開した。
- ⑤ BLの優良住宅部品認定（BL認定）「内装ドア」の基準改正に対して部会参加企業からの意見を提出した。また、指はさみ事故に関するBLのプレスリリースの紹介を受けた。
- ⑥ 10月17日に移動委員会を開催し、奈良市の「大和ハウス総合技術研究所」及び「ならまち」の街並みや町家を見学した。
- ⑦ 住宅部品点検推進部会にて進めている「お手入れ・点検ポータル」へのトピックス提供として、「床材」「内装ドア」「階段・はしご段」の3アイテムについて情報提供した。
- ⑧ 「住宅部品統計ハンドブック」掲載データを作成し、提出した。

4. キッチンルーム部会 【SDGs 目標：6、7、11、12、17】

【キッチンシステム委員会】【調理用加熱機器委員会】

(1) キッチンアンケート調査

「新築ファミリーマンション・建売住宅におけるキッチン仕様の満足度調査」を実施。10月にWEBアンケート及び解析、1月まとめ、3月完成。オプション選択やキッチンの広さによる満足度の違い、不満が高い機器の種類、年代によるキッチン空間の不満点など、有益な情報を得た。

(2) 見学会・移動委員会

12月「キューピー(株) 神戸工場」を見学。世界の食卓に欠かせないマヨネーズ、ドレッシングを高品質に大量生産する体制、創意工夫に感嘆した。同日「菊正宗酒造記念館」に訪問。大量生産するための創意工夫が大昔から続いていることを実感した。

1月「長谷工マンションミュージアム」を視察。集合住宅の歴史、専門的な技術解説から消費者向けの情報までバランス良く展示・体験でき、前年度の「UR まちとくらしのミュージアム」と合わせて住設進化への知見を大いに深めた。

(3) BLとの連携

優良住宅部品認定基準の改正・新設や書籍刊行などについて情報共有した。また、「施工の省力化に配慮した住宅部品のガイドライン」の作成に協力した。

(4) 専門部会情報共有

消費者・制度部会、リフォーム・施工部会、住宅部品点検推進部会、環境部会、広報部会の動向を共有。

(5) 「住宅部品統計ハンドブック」

該当機器パブコメ案について内容確認。

5. 住宅情報部会 【SDGs 目標：7、9、11、12、17】

住宅情報システム委員会、テレビ共同受信機器委員会、火災・ガス警報委員会の個別活動を基本としつつ、必要に応じて3委員会に関連した講演会、施設見学会、研修会等を企画し情報・課題を共有した。

【住宅情報システム委員会】 【SDGs 目標：7、9、12】

住宅設備業界全体のIoT事例紹介等を通じIoTに関する知見を広め、課題の共有と対応策について検討した。

特に、海外で定着しつつある Matter の動向を注視し、日本の各企業にとっての脅威の検討を実施した。Matter に対する日本企業の動きを調査・共有した。

環境変化への対応に関する情報交換を行い、委員各社の取組みや今後望まれる項目について共有した。

集合住宅での「置き配」普及についての最適策の検討を開始した。

【テレビ共同受信機器委員会】 【SDGs 目標：9、12、17】

「4K8K衛星放送」の受信に必要なBL部品を用いた3.2GHz伝送システムに関する事項を中心に、傘下の各WGと連携し様々な検討を行った。

(技術WG)

能動機器であるブースタの運用環境と使用状況から適正な耐用年数を設定するため、稼働品の電気性能試験、機能試験などの確認試験を行った。

(普及WG)

2024年度に実施した実証試験の報告書「テレビ共同受信システム機器試験報告書ー長期間連続稼働したブースタの電氣的性能と機能に関する調査ー」をまとめ、2026年3月に関係団体へ配布した。

(統計WG)

BL部品に関する出荷統計を毎月とりまとめ、今後の受信システム機器の在り方の調査・検討を行った。さらに「住宅部品統計ハンドブック」への掲載データとりまとめ、データ提供を行った。

【火災・ガス警報委員会】 【SDGs 目標：11、12】

関連工業会の情報共有、委員会各社の新しい動向の共有を図った。その上で、火災警報器設置の義務化から10年以上が経過し交換時期を迎えた既設の住宅用火災警報器の確実な更新が必要である。その更新に向けた施策、及び火災・ガス警報器や無線式連動型住宅用火災警報器の更なる普及に向けた検討を行った。

6. 給湯・暖冷房部会 【SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、17】

傘下の各委員会で共通する重要課題がなかったため、部会の開催は行わず、メールベースで対応を実施した。

【ガス給湯委員会】【石油給湯委員会】【ソーラーシステム委員会】

【SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、17】

(1) 住宅の省エネルギー化・脱炭素化への対応

・審議会情報の共有

-給湯器省エネトップランナー制度における次期目標基準値の改定(経産省)

-給湯器の省エネルギー・非化石エネルギー転換に向けた措置の検討(経産省)

-社会資本整備審議会建築分科会。建築物LCA推進。住宅性能表示制度の見直しについて(国交省)

-省エネルギー小委員会。ZEH定義の見直し(案)について(経産省)

-建築物LCA制度検討会(国交省)

-今後の住宅・建築物の省エネルギー対策のあり方(第四次答申)について(国交省)

・令和8年度概算要求(ZEH関係など補助金 国交省・経産省・環境省)

・令和7年度補正予算(給湯器関連補助金 国交省・経産省・環境省)

・令和8年度当初予算(ZEH関係など補助金 国交省・環境省)

(2) 優良住宅部品の普及促進等

・BL「優良住宅部品認定基準」の情報共有

-2025年4月21日付で公表・施行した「シャワールームユニット」の制定及び「キッチンシステム」他8品目の改正について

-2025年12月1日付で公表・施行した「太陽熱利用システム」及び「ガス給湯器」の改正について

(3) (一社)日本ガス石油機器工業会(以下「JGKA」)情報の共有

・エコジョーズ普及促進WGでの活動報告

-賃貸オーナー、管理会社向けに全国7ヶ所で説明会を実施。(一社)建築開口部協会とコラボで、賃貸の省エネ化に対し給湯器と窓の交換に補助金の活用をPRしたことについて共有。

- ・「地方公共団体によるドレン排水の取扱い情報マップ」の共有
 - ドレン雨水排水に関する自治体判断状況の可視化として(10/10時点の経産省公表リストに基づき) JGKAでExcel表から地図化した「地方公共団体によるドレン排水の取扱い情報マップ」について共有。
- ・「ガス・石油機器出荷実績見込みと出荷予測2026」の共有。
- (4) 良質な住宅ストックの形成、リフォーム事業の拡大
 - ・BL「人生100年時代のリフォーム応援ナビサイト」開設の情報共有
 - ・「ジュウテン」サイト内に「お手入れ・点検ポータル」構築への協力。(住まいのコラム作成・各社HPのお手入れ・点検関連ページへのURL提供)
 - ・「住宅部品統計ハンドブック」作成への協力。ガス給湯機・ガス風呂釜・石油給湯器ページのコメント等のチェック。
 - ・BL「施工の省力化に配慮した住宅部品のガイドライン等」検討ワーキングについて意見交換。
 - 「施工の省力化に配慮した住宅部品のガイドライン(案)」「居ながらの改修工事に配慮した住宅部品のガイドライン(案)」及びスケジュール等について情報共有し、ガイドライン(案)について意見交換。
- (5) 他の部会・委員会と連携して進めている事業
 - ・2024年度環境部会調査報告書の情報共有
 - 2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ・再エネ設備の消費者の認知度把握調査
- (6) 移動委員会の開催
 - ・10/21 トヨタ産業技術記念館の見学を実施。

【電気給湯委員会】 [SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、17]

- (1) 住宅の省エネルギー化への対応(住宅政策の情報収集と対応検討)

住宅の省エネ基準適合義務化、ZEH普及などの省エネ性能向上に関する施策や環境・健康に配慮した国等の施策、給湯機器の省エネ関連基準等(カーボンニュートラルに向けた施策、建築物省エネ法、省エネトップランナー基準)の見直しなど国の動向・施策についての情報共有を図った。
- (2) 情報発信

「アメニティ Cafe」の電気給湯機関連について内容更新が必要かについて確認を行い、今年度は更新の必要性はないことの確認を行った。
- (3) 「住宅部品統計ハンドブック」

掲載内容について①市場動向コメント、②統計データについて確認を行った。
- (4) 見学会・研修会の実施

9月18日に「クロネコヤマト羽田クロノゲート」「ニコンミュージアム」を視察した。

【暖冷房システム委員会】 [SDGs 目標：3、7、9、11、12、13、14、17]

- (1) 国や団体の動向に関する情報共有
 - ・経産省 2028年度省エネトップランナー基準(事務局)
 - ・経産省、国交省 住宅省エネキャンペーンの動向 2026年度各支援事業(事務局)

- ・国交省 次期住宅基本計画の政策動向(事務局)
 - ・住団連 「新たな住生活基本計画に向けた政策提案」
- (2) BL 関連情報の共有
- ・優良住宅部品認定基準の改正(ガス給湯機)等
 - ・「人生 100 年時代のリフォーム応援ナビサイト」の紹介
 - ・施工の省力化等に配慮した住宅部品のガイドラインに対する意見提出
- (3) ALIA 関連情報の共有
- ・住宅局との意見交換会に対する提案
 - ・部会連携による調査結果の共有(消費者の省エネ設備に対する意識)
- (4) その他
- ・「住宅部品統計ハンドブック」作成の協力
 - ・「お手入れ・点検ポータル」への素材提供
- (5) 移動委員会
- 「パナソニックミュージアム」見学にてものづくりの精神の習得(9月19日)
- (6) 委員会活動
- ・各委員会社の CN の取組みや事業所紹介など相互理解と情報交換を実施

7. 開口部会〔SDGs 目標：1、2、3、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17〕

- (1) 開口部会の各委員会の活動内容の共有
- 各委員会(サッシ、スチール部品、手すりユニット・補助手すり合同)及びALIA他部会・委員会、他団体情報の情報を共有し、連携を行った。また、サッシ委員会内にWindEyeの利用拡大に向けた課題検討WGを立上げ情報の共有を行った。
- (2) 調査・情報収集と意見交換
- ①優良住宅部品の防犯BL-bs部品交換等支援運用見直しに伴う「BLマーク証紙」の統合について情報共有と意見交換を行った。
 - ②「2025年版住宅部品統計ハンドブック」
「2025年版住宅部品統計ハンドブック」出荷統計データの情報提供を各担当委員会より行った。
 - ③調査・情報収集テーマの検討(サッシ委員会)
新たな社会要請(脱炭素等)への対応を目的に、2025年度調査(3テーマ)結果の共有を行った。
 - ④良質な住宅部品の供給・普及のための住宅・住宅部品に関わる課題対応
墜落防止手すり試験方法について情報の共有を行った。

【スチール部品委員会】〔SDGs 目標：3、7、9、12、13、14、16、17〕

- (1) 良質な住宅部品の供給・普及
- ①玄関ドア、改修用玄関ドアのJIS改正に伴うBL認定基準改正の情報共有を行った。
 - ②「住宅部品統計ハンドブック」へ鋼製建具動向、錠前出荷統計数及び動向に関する情報提供を行った。
 - ③「お手入れ・点検ポータル」住まいのコラムへ「台風シーズン到来！玄関ドアを守るための3つのポイント」の掲載に協力を行った。

- ④住宅部品点検推進部会、点検普及ビルダー対応委員会より依頼のあったドアクローザ、玄関ドアのお手入れ情報、錠前の点検及び交換目安に関する情報提供を行った。
 - ⑤省エネ地域区分 1・2 地域におけるマンション玄関ドアの設置状況を把握することを目的として、委員会に所属するメーカー5 社により調査を実施した。本調査では、北海道地域に販売・設置されたマンション玄関ドアについて、当該ドアが外皮に面しているか否か、並びにその断熱性能等級を確認した。
(外皮:0%, 内部:100%、断熱性能等級 H-5:2%, H-4:44%, H-3:54%)
- (2) 「住宅部品の点検」を核とした優良住宅ストック社会実現への貢献
「住宅部品 経年劣化スタディブック」に関し、日本鋼製軽量ドア協議会に情報共有し、同協議会が検討している推奨交換時期に協力を行った。
 - (3) 政策提言・提案・情報発信の強化
「お手入れ・点検ポータル」構築のため、各社 HP のお手入れ・点検関連ページへの URL 提供に協力を行った。

【手すりユニット委員会】【補助手すり委員会】 [SDGs 目標：9、11、12、17]

- (1) BL との取組み
 - ・墜落防止手すりの支柱におけるビス孔、ボルト孔径の大きさについて BL より調査依頼があった。各委員会社より回答がなされ、調査結果の情報共有化を行った。BL 側で試験方法にどの様に反映させるか今後検討する。
 - ・墜落防止手すりの階段部（傾斜部）の優良住宅部品認定基準化を検討するに当たり、傾斜部手すりの試験や計算方法について情報があれば参考にしたい旨 BL より要望があり、各委員会社に調査依頼を展開した。
 - ・歩行補助手すりと動作補助手すりとのレール直径の違いと、動作補助手すりのレールと壁のすき間寸法についての疑問点が BL より提示され、意見、情報交換を行った。
- (2) 「お手入れ・点検ポータル」のトピックス作成
 - ・子供の安全、安心を守る内容のベランダでの注意喚起の文言案について協議、検討を行った。意見、修正案を出し合って、取りまとめたものを点検推進部会へ提出した。
 - ・「お手入れ・点検ポータル」内に掲載する、手すり・補助手すりに関わる内容のコラムの新たなネタ提供の協力依頼を行った。
- (3) 「2025 年版統計ハンドブック」掲載対応
 - ・各委員各社より墜落防止手すり、歩行補助手すり、動作補助手すりの 2024 年度の出荷実績の情報を頂き、出荷統計データの提出を行った。
- (4) 10 月 22 日に東京都多摩市の「長谷工マンションミュージアム」への移動委員会を実施し、集合住宅・マンションの変遷、施工、工事の流れ等が分かる展示物を見学した。

【サッシ委員会】 [SDGs 目標：3、7、8、9、11、12、13、14、15、17]

地球温暖化による環境悪化に対応する環境性能の向上等の課題に対し調査、情報収集及び WindEye の利用拡大に向けた課題検討のための WG を立ち上げ活動した。

情報の収集や検討、活用及び発信を行うとともに、脱炭素・2050年カーボンニュートラル実現等の社会的要請への対応を重視した活動を推進した。

(1) 調査・情報収集テーマの検討

社会要請（脱炭素等）への対応を目的に、2025年度調査を実施し、成果報告会を実施した。

- ① 省エネ性能向上に関する施策及び住宅の温熱環境に関する情報収集と共有
- ② 日射熱取得性の考え方及び日射熱取得性能向上のための技術や商材の情報収集と共有
- ③ WindEye の利用拡大に向けた課題と普及促進策の検討

(2) WindEye の利用拡大

WindEye 普及検討WG を立ち上げ、検討を開始した。

(3) 「住宅部品統計ハンドブック」

樹脂サッシ及び窓シャッターの実績調査を実施した。

(4) その他情報収集と共有

- ・開口部会の他委員会の活動内容の共有
（スチール部品、手すり・補助手すり合同）
- ・専門部会の活動内容の情報共有（広報部会、消費者・制度部会、環境部会、住宅部品点検推進部会）
- ・「お手入れ・点検ポータル」掲載についての検討
（住宅部品点検推進部会）

8. 外皮部会 [SDGs 目標：3、7、11、12、13、14、17]

(1) 高性能な外皮仕様の普及啓発

① 消費者向けセミナーの開催

昨年度に引き続き、(公益社団法人)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント相談員協会(NACS)と連携したセミナー・勉強会を実施した。

開催に当たり、テーマ・コンテンツについてはNACSと意見交換し、外壁・屋根のメンテナンスを中心に防犯・防災対策なども織り込むこととなった。一般向けに資料を改訂し、省エネキャンペーン2025など補助金の情報も盛り込み演題は「外壁・屋根の耐久性と維持管理 ～快適な住宅は外皮からはじまる～」とした。セミナーは7月30日19時から開催され74名の参加者で、終了後の質疑も活に行われ、終了後大変有意義な講習であったとお言葉をいただいた。終了後約2週間動画を公開し講習会欠席者に閲覧していただいた。

② 事業者向けセミナーの開催

昨年度に引き続き工務店・設計事務所向けセミナーを3月2日開催した。

記念セミナー1として、国土交通省住宅局住宅生産課 吉積課長補佐から「住宅省エネ2026キャンペーン・みらいエコ住宅2026事業について」をテーマにご講演、記念セミナー2として、(株)リフォーム産業新聞社 福田専務取締役報道部長より「断熱で勝つ 事業設計」をテーマにご講演いただいた。外皮部会からは「健康・省エネ・快適な外皮のススメ」として高性能外皮の内容・省エネキャンペーン2026の紹介を行った。外皮部会の資料は新築から改修目線で資料を見直した。当日は約180名の方が聴講された。

③ 「お手入れ・点検ポータル」への協力

「お手入れ・点検ポータル」構築の検討に当たり、各社のお手入れページへのリンクを掲載するため、対象 URL の提供が依頼され、部会をまたがる企業もあるため、各社で調整の上、提出することとした。

(2) 移動委員会

11月28日に開催した。北海道の明治から昭和初期の歴史的建造物の展示施設である北海道開拓村、現存する最古の木造ホテルである豊平館を視察した。

(3) 情報共有

住団連性能向上WG・住宅ストック委員会、リ推協などの情報を共有した。

9. 共同設備部会

【給水ポンプシステム委員会】 [SDGs 目標：12]

(1) 給水ポンプシステムの維持管理の重要性啓発活動

① 東管ニュースへの広告掲載

10月号に、予防保全・保守点検の重要性について広告を掲載し、市場に対する啓発活動を実施。

② 広告掲載内容の見直し

通信機能を有した、「常時監視型」及び「随時点検型」の監視機能付給水ポンプの紹介などの内容を加え、次年度に向けて原案を作成した。

③ 管工機材・設備総合展（東京・大阪）において、マンション管理関連者へのポンプ点検啓発チラシを配布し、日常点検の重要性を訴えた。

(2) BL 制度の改定、改正への協力

今年度は対象となる改訂及び改正がなかった。

(3) 会員各社の見識を広げるための見学会及び移動委員会

9月に八景水谷送水場・水道記念館（熊本市）を見学し、水道施設に関する見識を深め、ポンプ業界の今後の課題等について意見交換を行った。

(4) 「アメニティ Cafe」の充実

① アメニティ Cafe（給水ポンプ）「最近の傾向」の内容について、最新情報や、BL-
bs 基準製品を訴求するべく、掲載内容の見直しを行い、公開した。

② 「保守管理・整備診断について」部品取替周期・整備診断表の記載内容を見直し、用語の整合などを実施した。

③ 「給水ポンプシステムの分類」製品写真データの更新有無を各委員に確認し、更新を実施した。

【給水タンク委員会】 [SDGs 目標：11]

(1) 給水タンク安心支援サービスの運用

登録状況データを BL より会員各社へ送付した。

(2) 各種給水タンクの出荷実績調査

24年下期と25年上期の出荷統計集計を完了した。

(3) 水槽の重要性の広報活動

応急仮設住宅に関する資材、器材の供給能力調査へ回答した。

供給条件を先方から指定のあった「2槽式で特注品でないもの」とし、数量は前年度と同様にて一般社団法人プレハブ建築協会へ提出した。

(4) アメニティ Cafe「給水タンク」の持続的改善

[震災における給水タンク調査]のページに日本給水タンク工業会にてとりまとめられた「令和6年能登半島地震に於ける貯水槽の被害調査結果報告」をリンクし公表した。

[維持管理について]及び[給水タンク的设计・施工上の留意点]のページの記載内容を見直し更新した。

(5) 給水タンクにおける課題・社会要請への対応（2024年度から継続）

昨年度より、防災・減災、国土強靱化に向けた社会の動向についてレジリエンスに加えてカーボンニュートラルなどの観点も検討範囲に含めて調査・意見交換を実施。

雨水利用システムのBL認定基準構築に向けた計画について、BLより情報共有をいただいた。

【エレベータ委員会】 [SDGs 目標：9、12]

(1) BL認定基準適合確認自己チェックリストに関し、各社意見の取りまとめ作業を実施した。

(2) 新規技術の動向について見聞を深めることを目的として「TEPIA 先端技術館」を見学した。

10. アウトドア部会

【屋外収納ユニット委員会】 [SDGs 目標：12]

(1) 小規模な倉庫の関連法規に関する調査・研究

これまでの耐震試験で発生した損傷を課題として捉え、その改善設計案の妥当性を測ることを目的に、第4回目の試験を2月19日に実施した。今後は、試験結果の分析及び、損傷の改善方法を共有する等の対応を予定している。

また、ユーザーへの注意喚起及び点検項目ガイドの作成については、今回の試験結果を踏まえ、完結に向け対応を進める。

(2) アメニティ Cafe 掲載内容の見直し

現在掲載中の製品画像更新の要否について検討を実施した。今年度は特に更新は行わなかった。

(3) 消費者契約法改正に伴い、業界が消費者に対して提供すべき情報の確認と提供方法に関する検討

委員会メンバーにて過去の取組み事項の確認や、案出しを実施した。下期以降の取組みに繋がるようなテーマは出ず、時期を見て改めてテーマ出しを行うこととした。

(4) (一社)プレハブ建築協会から定期的に行われる鋼製物置の供給可能数量報告各メーカーにて供給可能数の調査を実施し、集計結果を報告した。

(5) 見学会及び移動委員会の実施

移動委員会として、3月4日にトヨタ産業技術記念館見学を実施した。

【郵便受箱委員会】 [SDGs 目標：9、11、12]

郵便受箱の年度出荷データを集計して動向分析を行った。また、「住宅部品統計ハンドブック」にデータ提供を行い市場動向についてコメントした。(宅配ボックス委員会と合同実施)

【宅配ボックス委員会】 [SDGs 目標：7、8、9、11、12]

- (1) 宅配ボックスの年度出荷データを集計して動向分析を行った。また、「住宅部品統計ハンドブック」にデータ提供を行い市場動向についてコメントした。
- (2) 国土交通省と経済産業省が次年度4月に「再配達削減PR月間」として宅配便・e コマース・通販の事業者とともに再配達削減に向けた取組みについて、当委員会でも賛同・協力を呼びかけた。
- (3) 子育てグリーン住宅支援事業へのフォロー対応を引き続き実施した。
- (4) みらいエコ住宅2026事業への対応と実施内容を共有した。
- (5) 子育て支援型共同住宅推進事業へのフォロー対応を引き続き実施した。
- (6) ラストマイル配送の効率化に向けた検討会の内容について情報共有した。
- (7) 東京都の宅配ボックス設置補助の状況について情報共有した。
- (8) 設置場所における防火の観点での設置可否について意見交換した。
(郵便受箱委員会と合同実施)

11. 換気・配管システム部会

【換気ユニット委員会】 [SDGs 目標：3、7、12、13、17]

- (1) 環境・健康に配慮した換気設備の訴求
- (2) 安全安心な換気設備のあり方の訴求
- (3) 情報の収集と共有
 - ・建築物省エネ法、ZEH など省エネ性能向上に関する施策について、情報収集、課題把握等
 - ・関連する国の施策（規制、補助金、税制）の動向に関わる情報収集と意見交換
 - ・活動実施するに当たり、有識者との情報交換、関連施設見学で見識を深め、より充実した情報発信につなげる。
- (4) アメニティ Cafe の更新
 - ・アメニティ Cafe の更新で情報発信を強化した。
 - ・換気に関する法令制度や23年度に実施したレンジフード負圧実験を踏まえた内容等、新規のページを作成した。
- (5) 専門家によるセミナー及び意見交換会
 - ・LIXIL 社の IoT スマートホーム勉強会を実施した。
 - ・最新のスマートホーム事情・ニーズをセミナーで知見を深めた。
 - ・各委員より質疑応答も通じて商品開発につなげる。
- (6) 関連施設視察
 - ・新さっぽろエネルギーセンタ視察。先進的なスマートシティの視察。
 - ・町全体でのエネルギー調整、レジリエンスへの知見を深めた。
- (7) その他
 - 国土交通省からの要請を受け、補助金の要件設定の協力を行った。

【配管システム委員会】 [SDGs 目標：9、12、17]

(1) 配管システム部材の環境負荷低減/省資源化の検討

配管システム部材の点検に基づいて適切なメンテナンスを実行することで長寿命化及び廃棄物の削減を推進すべく、居住者が実行可能なメンテナンス方法の確立や部材交換が必要な場合の措置方法、交換後のリサイクル方法について検討を進めた。

上記の推進に向け、アメニティ Cafe に「配管システムの点検/交換 チェックシート」を追加した。

(2) 講演会の実施

講演会開催に向け有識者講師を探したが、対応できる講師が見つからず、今年度は見送ることにした。

(3) 情報共有

- ・ALIA 運営委員会各種資料・報告書
- ・国交省からの情報
- ・「お手入れ・点検ポータル」への登録商品追加 など

VIII. その他の委員会

1. 窓の熱性能審査委員会 [SDGs 目標 : 7]

(1) WindEye の普及促進

①TB2D/BEM の講習会

WindEye への登録に必要となるデータの計算方法の習得について講習会を 2 回開催した。

7月1日：2社/団体6名

12月3日：1団体6名

②WindEye の申請サポート

新規メーカーの登録申請に向けたサポートを実施した。計算方法に関する質問対応や計算代行の問合せ等があり、随時対応した。

③サッシ委員会 WindEye 普及検討 WG との連携

WindEye の普及を促進するため、サッシ委員会 WindEye 普及検討 WG と連携して提案資料の作成支援等を行った。

(2) WindEye の定期的なバージョンアップ

①WindEyeGlass の U_w 値の更新

建築研究所技術情報において、三層複層ガラスを用いた窓の熱貫流率の簡易的評価が変更となったため、WindEyeGlass で表示される U_w 値を更新し 8 月に正式リリースした。

②操作性向上の改良検討

WindEye の操作性向上のため、画面構成や操作手順の見直しを検討した。引続き住宅設計者等からも意見集約を行い、改良案を作成していく。

(3) WindEye の新機能開発

①住宅等の省エネ基準適合義務化に対応する WindEye の検討

WindEye の省エネ基準適合に資するため、框ドアの製品登録可能品種の拡充要望を受けて検討し、対応した。

②新機能 (WEP 計算機能) 追加の検討

WindEye を継続的に発展させていくことを目的に、JIS A 2104(住宅用窓のエネルギー性能-計算手順)に基づく性能の提示に向けて検討した。

9月10日には検討結果として「窓のエネルギー性能 WEP の試算と単一評価指標導入に向けた検討」を日本建築学会大会（福岡：九州大学）にて5報に分けて発表した。ユーザーにとって分かりやすい評価方法を引続き議論し、次年度の学会退会での発表に向けて準備した。

(4) 申請登録数

- ・ WindEye 申請、審査
フレーム・ドア：159 窓種 1111 断面
ガラス：基礎データ 12 点、

2. 統計ハンドブック編集プロジェクト [SDGs 目標：12]

住宅部品に係る市場動向と市場規模の変化を的確に把握するため、統計データを時系列に収集・整理し、今後の市場動向を加味した「2025年版 住宅部品統計ハンドブック」を作成し、会員企業をはじめ関係団体等に広く情報提供した。

- ・ 住宅部品（商品収録数：商品区分 59、品目分類 92 種）の統計データ
- ・ 原則として国内全出荷数量のデータを掲載し、住宅用推定比率より、住宅部品の全体市場規模を算出した。
- ・ 2024 年度版から ALIA 推計単価の利用を停止した。

IX 会員状況

【2026年3月31日現在】

会員種別	2024年度末 会員企業数	2025年度内		2026年 3月末会員企業数
		入会企業数	退会企業数	
正会員	108社・団体	0社・団体	3社・団体	105社・団体
賛助会員	15社・団体	1社・団体	0社・団体	16社・団体
合計	123社・団体	1社・団体	3社・団体	121社・団体

(正会員退会状況)

	企業名	所属委員会	退会月	備考
1	株式会社 大佐	換気ユニット委員会	2026年3月	営業品目の変遷
2	ナカ工業株式会社※	補助手すり委員会	2026年3月	会社都合
3	日本アンテナ株式会社	テレビ共同受信機器委員会	2026年3月	会社合併

※2026年4月に賛助会員へ会員種別変更

(賛助会員入会状況)

	企業名	入会月	備考
1	東洋シャッター株式会社	2025年8月	住宅向け建材に関する知見入手

X 主要行事等一覧（2025年4月～2026年3月）

【総会・理事会・主要行事】

月	内容	詳細（日付、テーマ・タイトル名等）
5月	第一回通常理事会	5/21 第一回通常理事会 (事業報告・計画、収支決算・予算、定款改正、会費制度改定、通常総会召集)
6月	通常総会・臨時理事会	6/6 総会・臨時理事会 (事業報告・計画、決算・予算、定款改正、会費制度改定、副会長選任等)
7月	BL・ALIA研究成果合同発表会	7/31 <ALIA発表テーマ> 消費者・制度部会 部会長 柴崎 和彦 氏 「住宅部品の取り替え喚起に向けた調査」 環境部会 部会長 山口 宏之 氏 「2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ・再エネ設備の 消費者の認知度把握調査」 <BL発表テーマ> つくば建築試験研究センター 性能試験研究部 主席試験研究役 菅 哲俊 氏 「全熱交換器の新評価法の根拠に関する実験的検討」 サステナブル居住研究センター 居住研究部 居住研究課長 吉田 俊 氏 「住まいと暮らしの20年間の変化 ～S L I : サステナブル・リビング・インデックスの更新～」 <基調講演> 横浜市立大学 国際教養学部 教授 齊藤 広子 氏 「住宅関連事業者への期待 ～国の住宅政策の動向を踏まえて～」
10月	「住宅部品点検の日」 シンポジウム	10/10 テーマ： 知って得する！「自分で点検」がもたらすビジネスヒント ～居住者×事業者の良好な関係を実現するスマートな情報発信～ ・基調セミナー： 「清潔で快適な住空間を維持するための、居住者への情報発信のポイント」 株式会社HITOWA 企画部長 尾崎 真 氏 ・ALIAプレゼン： 「居住者による自主点検の重要性とお手入れ・点検ポータルサイトのご紹介」 一般社団法人リビングアメニティ協会 住宅部品点検推進部会長 近藤 秀介 ・ビルダープレゼン： 株式会社家守り 代表取締役 富永 寿乃 氏 株式会社キタセツ 代表取締役社長 北川 拓 氏 ・パネルディスカッション ファシリテーター： 株式会社リフォーム住宅新聞社 専務取締役報道部長 福田 善紀 氏
11月	第二回通常理事会	11/19 第二回通常理事会 (職務執行状況報告、中期活動計画検討報告、その他)

【運営委員会】

月	開催内容
4月～ 3月	開催回数10回 ・国土交通省および関係団体情報提供 ・各部会月次進捗状況報告 ・各部会事業計画、事業報告、理事会報告 ・研究成果発表会、講演、シンポジウム企画の検討 ・同上結果報告 他

【事業企画部会】

月	開催内容
4月～ 3月	開催回数11回 ・各部会事業計画、事業報告、理事会報告 ・企画WG（会費改定、会員増強、活動活性化） ・中期活動計画検討 ・研究成果発表会、講演、シンポジウム企画の検討 ・同上結果報告 他

【専門部会・空間部会】

部会名	開催内容
広報部会	<p>開催回数 12回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関誌ALIANEWSの定期発行、WEBサイトの充実・活用、運営管理 ・7/31BL・ALIA研究成果合同発表会開催 ・10/10住宅部品点検の日の周知とシンポジウム開催に向けての広報活動他 <ul style="list-style-type: none"> ○ALIANEWS編集委員会 開催回数11回 ○WEB企画・管理委員会 開催回数12回 ○イベントWG 開催回数12回
消費者・制度部会	<p>開催回数11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の住まいに関する意識調査」（別居中の高齢の親を持つ子供世代への調査）を実施する。 ・調査報告書完成（3月）
環境部会	<p>開催回数10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ建材・設備、再エネ設備の消費者の認知度把握調査（リフォーム編）」を推進中 ・調査報告書完成（3月）
リフォーム・施工部会	<p>開催回数11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究事業についてテーマは、子育て世代を中心にリフォーム実施に関する課題等インターネット調査の質問事項検討中 ・住団連、リ推協等他団体活動への参加 ・2026年度国交省等関連予算・制度改正要望についてリフォームに関する予算・制度要望をとりまとめ提出。 ・ALIANEWS夏号に2024年度調査報告書抜粋内容を寄稿
住宅部品点検推進部会	<p>開催回数12回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検・お手入れの有用性の普及方法について審議継続 ・住宅部品点検文化の醸成とそれに関わる施策、及び施策の進捗確認 ・第14回「住宅部品点検の日」シンポジウムの企画・準備・実施 ・「住宅部品のお手入れ点検」第5回ジュウテンジャーぬりえキャンペーン2025 開催 ・「お手入れ・点検ポータル」サイトの試行スタートと拡充・改善の検討 <ul style="list-style-type: none"> ○点検普及ビルダー対応委員会 開催回数12回 ○点検普及消費者対応委員会 開催回数11回 ○業界連携委員会 開催回数9回 ○住宅部品点検研究委員会 開催回数7回
SDGs推進部会	<p>開催回数 SDGs推進部会・こども応援PT合同開催 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども応援プロジェクト第5弾支援開始 ・こども応援プロジェクト第6弾支援準備 ・情報発信（WEBページ更新、5月ニュースリリース配信） ・こども食堂見学会、むすびえ講演会の実施
トイレルーム部会	<p>開催回数6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメニティCafe内容見直し（給水栓） ・12月16日トイレ研究者 白倉正子氏（アントイレプランナー代表）による講演会を実施
バスルーム部会	<p>開催回数6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴室関連施策・課題の情報収集（BLシャワーユニット基準策定ワーキング参画） ・産業技術総合研究所等視察（5月） ・入浴文化としての銭湯の取り組みの視察 他
リビングルーム部会	<p>開催回数6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リビング関連部品の取扱説明書に関する調査報告書作成 ・改正クリーンウッド法に関する情報収集と部会内での共有 ・シックハウス（室内空気汚染）に関する検討会での情報収集

部会名	開催内容
キッチンルーム部会	<p><u>開催回数7回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新築ファミリーマンション・建売住宅におけるキッチン仕様の満足度調査」設問票作成 ・勉強会の開催(キューピー 神戸工場) ・優良住宅部品普及促進 他
住宅情報部会	<p><u>開催回数0回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅情報システム委員会 <u>開催回数6回</u> ・テレビ共同受信機器委員会 <u>開催回数11回</u> ・火災・ガス警報委員会 <u>開催回数6回</u> ・リ推協の「既存住宅にかかる防犯性能検討委員会」の委員に住宅情報システム委員会委員長が就任。委員会での検討と意見提出、情報共有を実施。 ・「共通住宅建設工事共通仕様書(令和4年版)」に関する修正・改訂提案の検討実施、 ・「建築設備計画規準・設計基準(令和6年版)」に関する修正・改訂提案の検討実施 ・「長期稼働されたブースターに対する基本性能及び機能の調査」報告書の内容検討 ・「(仮) 既存ブースター(旧稼働品)の電源性能関連の評価」に関する意見交換の実施。試験は下期に実施予定。
給湯・暖冷房部会	<p><u>開催回数0回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス給湯・石油給湯&ソーラーシステム合同委員会 <u>開催回数6回</u> ・電気給湯委員会 <u>開催回数6回</u> ・暖冷房システム委員会 <u>開催回数6回</u> ・B Lの「施工の省力化に配慮した住宅部品のガイドライン等」検討委員会の協力委員に部会長が就任。各委員会での検討と意見提出、情報共有を実施
開口部会	<p><u>開催回数4回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチール部品委員会 <u>開催回数10回</u> ・手すり・補助手すり委員会 <u>開催回数8回</u> ・サッシ委員会 <u>開催回数6回</u>
外皮部会	<p><u>開催回数11回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/30 NACS様メンバーのセミナーに向け、特に外壁・屋根のメンテンを中心に資料作成し意見交換を行った。 ・B L様良好な温熱環境実現推進研究会に関する情報を共有 ・3/2 「健康 × 省エネ × 快適をつくる断熱リフォーム」～補助金を追い風に広がる市場を取り込むために～ セミナー開催
共同設備部会	<ul style="list-style-type: none"> ・給水タンク委員会 <u>開催回数6回</u> ・給水ポンプシステム委員会 <u>開催回数7回</u> ・エレベータ委員会 <u>開催回数6回</u>
アウトドア部会	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外収納ユニット委員会 <u>開催回数6回</u> ・郵便受箱委員会 <u>開催回数6回</u> ・宅配ボックス委員会 <u>開催回数6回</u>
換気・配管システム部会	<ul style="list-style-type: none"> ・換気ユニット委員会 <u>開催回数6回</u> ・配管システム委員会 <u>開催回数4回</u>
窓の熱性能審査委員会	<p><u>開催回数8回</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・WindEyeフレーム：159窓種・1111断面の申請、審査を行った。 ・WindEye計算方法の講習会を2回開催(7/1・12/3) ・WindEyeのJIS改正に伴う見直しを行った。 ・WindEyeWEPの追加の検討中。

【講演会・勉強会・説明会】

月	内容または関係部会・委員会名	詳細（日付、テーマ・タイトル名等）
7月	窓の熱性能審査委員会	7/1 WindEye (TB2D/BEM) 講習会実施
	外皮部会	7/30 NACSセミナーにて講演 テーマ：「外壁・屋根の耐久性と修繕・維持管理について」 ～ 快適な住宅は外皮からはじまる ～
8月	リフォーム・施工部会	8/8 住団連 住宅ストック委員会にて2024年度ALIA調査研究事業テーマを発表 テーマ：「既存住宅の断熱リフォーム推進に向けた課題把握調査」
10月	点検普及ビルダー対応委員会	10/18 なるほどノーリツフェア 「居住者による住宅建材・設備の点検に関する実態調査」の発表を実施 参加者：54名 アンケート回答者：40名
12月	窓の熱性能審査委員会	12/3 WindEye (TB2D/BEM) 講習会実施
	点検普及消費者対応委員会	12/4 「住宅部品ショールーム研修会」開催（NACS西日本支部対象）
	トイレルーム合同部会	12/16 トイレ研究家 白倉正子氏による講演会実施 テーマ：「トイレ研究家の活動と世界と日本のトイレの違い」
1月	バスルーム部会	1/21 株式会社バスシステムデザイン研究所 日吉 孝夫氏による講演会 テーマ：「今ある浴室を壊さない、新しいリフォーム」
3月	外皮部会	3/2 外皮セミナー開催 テーマ：「健康 × 省エネ × 快適をつくる断熱リフォーム」～補助金を追い風に拡がる市場を取り込むために～

【移動委員会】

月	内容または関係部会・委員会名	詳細（日付、テーマ・タイトル名等）
5月	バスルーム部会	5/16 産業技術総合研究所・古いパーク・銭湯金春湯（こんばるゆ） （東京都江東区、中央区） 見学
7月	WEB企画・管理委員会	7/11 藤次郎オープンファクトリー（新潟県燕市） 見学
8月	ALIANEWS編集委員会	8/29 震災遺構荒浜小学校（宮城県仙台市） 見学
9月	電気給湯委員会	9/18 ニコミュージアム（東京都品川区）・ヤマトHD羽田クロノゲート（東京都大田区） 見学
	暖冷房システム委員会	9/19 パナソニックミュージアム（大阪府門真市） 見学
	換気ユニット委員会	9/19 新さっぽろエネルギーセンター（北海道札幌市） 見学
10月	住宅情報システム委員会	10/3 新さっぽろエネルギーセンター（北海道札幌市） 見学
	スチール部品委員会	10/17 熊本城、水前寺公園（熊本市） 見学
	リビングルーム部会	10/17 大和ハウス総合技術研究所・ならまち（奈良県奈良市） 見学
	火災・ガス警報器委員会	10/17 金沢現代建築（石川県金沢市） 見学
	ガス・石油、ソーラシステム合同委員会	10/21 トヨタ産業技術記念館（愛知県名古屋市） 見学
	手すりユニット・補助手すり合同委員会	10/22 長谷工マンションミュージアム（多摩市） 見学
	テレビ共同受信機器委員会	10/23 小岩井農場、グランドセイコーススタジオ零石（岩手県盛岡市） 見学
	給水ポンプシステム委員会	10/29 八景水谷送水場・水道記念館（熊本県熊本市） 見学
	トイレルーム合同部会	10/31 INAXライブミュージアム（愛知県常滑市） 見学
環境部会	10/31 北九州エコタウンセンター（福岡県北九州市） 見学	

11月	広報部会	11/7 スズキ歴史館（静岡県浜松市）見学
	エレベータ委員会	11/12 TEPIA先端技術館（東京都港区）見学
	サッシ委員会	11/14 震災遺構 仙台市立荒浜小学校 せんだい3.11メモリアル交流館（宮城県仙台市）見学
	消費者・制度部会	11/21 震災遺構 仙台市立荒浜小学校 せんだい3.11メモリアル交流館（宮城県仙台市）見学
	バスルーム部会	11/14 積水ハウスTomorrow's Life Museum 山口（山口県山口市）見学
	リフォーム・施工部会	11/21 大和ハウス工業(株) 総合技術研究所（奈良県奈良市）見学
	外皮部会	11/28 北海道開拓の村（札幌市厚別区）見学
12月	点検普及消費者対応委員会	12/5 大阪ガスハグミュージアム（大阪府大阪市）見学
	点検普及ビルダー対応委員会	12/12 琵琶湖疎水記念館（京都府京都市）琵琶湖疎水、関連施設見学
	キッチンルーム部会	12/12 キューピー神戸工場/菊正宗酒造記念館（兵庫県神戸市）見学
3月	屋外収納ユニット委員会	3/4 トヨタ産業技術記念館（愛知県名古屋市）

【冊子・報告書・カタログ類】

月	内容または関係部会・委員会名	詳細（日付、テーマ・タイトル名等）
5月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 春号発行
8月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 夏号発行
11月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 秋号発行
12月	テレビ共同受信機器委員会	「長期間連続稼働したブースタの電氣的性能と機能に関する調査」報告書
1月	ALIANEWS編集委員会	ALIANEWS 新年号発行
2月	リフォーム・施工部会	「子育て世帯の住宅ニーズ把握調査」報告書
2月	消費者・制度部会	「高齢者の住まいに関する意識調査」報告書
2月	環境部会	「2050年カーボンニュートラルに貢献する省エネ建材・設備および再エネ設備の消費者の認知度把握調査（リフォーム編）」報告書
2月	キッチンルーム部会	「新築ファミリーマンション・建売住宅におけるキッチン仕様の満足度調査」報告書

【メールマガジン】

月	内容または関係部会・委員会名	詳細（日付、テーマ・タイトル名等）
4月～ 3月	WEB企画・管理委員会	部会委員会活動、講演会の案内等の定期メールマガジン発信（毎月25日前後）12回
	WEB企画・管理委員会	行政情報・イベント情報等の適時メールマガジン発信 3回

【関係団体委員会参加状況、主な活動】

関係団体名	参加委員会・会議等
ベターリビング	優良住宅部品認定基準委員会、J I S 認証業務諮問委員会、住宅インフィル・リフォーム懇談会、住宅資材流通懇談会、住宅の良好な温熱環境の実現推進フォーラム、A B 連携検討会議
住宅生産団体連合会	政策委員会、政策委員会支援WG、運営委員会、技能者問題委員会、国際交流委員会、住宅性能向上委員会（WG、SWG1、SWG2）、消費者制度検討委員会、消費者普及WG、環境委員会、IoT等先進技術活用WG、建築規制合理化委員会（WG）、住宅税制・金融委員会、住宅ストック委員会、成熟社会居住委員会
住生活月間実行委員会	中央イベント実行委員会、中央イベント企画委員会 住生活月間実行委員会、住生活月間実行委員会幹事会
住宅リフォーム推進協議会	リフォームで生活向上プロジェクト実行委員会、運営委員会、市場環境整備委員会、広報委員会、技術情報委員会
ベターライフリフォーム協会	運営委員会、企画総務委員会
日本建材・住宅設備産業協会	窓/ガラス分科会、団体連絡会、IoT住宅部会
日本能率協会	ジャパンホームショー&ビルディングショー実行委員会
住宅金融支援機構	団体連絡会
東京都	東京都省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム
インターホン工業会	戸外表示器管理委員会